

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・学習と活動スペースを分けている。	・子供の成長に机,椅子を対応させていきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	・基準以上の配置をしている。	・より密な支援を行うために,指導員数が必要と感ずることがある。
	3	事業所の設備等について,バリアフリー化の配慮が適切になされているか		・現在,十分とは言えないが,必要に応じて随時対応を行っていく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に,広く職員が参画しているか	・毎日ミーティングを行い一人ひとりの子どもに対し,意見交換を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し,業務改善につなげているか		・今回が初実施。改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を,事業所の会報やホームページ等で公開しているか		・今回が初実施。HP内,事業所内にて公開をしていく。
	7	第三者による外部評価を行い,評価結果を業務改善につなげているか		
	8	職員の資質の向上を行うために,研修の機会を確保しているか	・職員間において技能・経験の伝達を行うことができている。	・外部にも派遣依頼をしたり,こちらから出向いたり,参加機会を増やしていきたい。
	9	アセスメントを適切に行い,子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で,放課後等デイサービス計画を作成しているか	・保護者からのアセスメント,職員間での話し合いをもとに作成している。	
適切	10	子どもの適応行動の状況を図るために,標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	・学習内容,集団療育について話し合いながら内容を選定している。	
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	・季節ものを取り入れるなど	
	13	平日,休日,長期休暇に応じて,課題をきめ細やかに設定して支援しているか		・長期休暇の利用で特別に課題を変更してはいない。余暇の過ごし方など必要に応じて支援をおこなってきたい。

な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・毎日ミーティングを行っており、支援について確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	・保護者からの連絡などは共有できるようにしている。	・その日にできる範囲で行っており、終業時間をすぎたものについては、翌日早急に行うようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	・一人ひとりに対し、きめ細やかな記録を残すことを徹底している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	・新たな支援計画作成前に行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		・地域連携の面が薄い。必要に応じて地域連携を行っていききたい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		・年度ごと、もしくは必要に応じて、情報共有、送迎に関する確認事項について打ち合わせを行っていききたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	・今のところ該当者なし。	・必要に応じて、連絡体制の整備を行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		・新一年生の契約に併せて、必要に応じて、連携を行っていききたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・中高生の利用がないため、現状必要性がない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・医療機関で利用者も受診している言語聴覚士の先生と連携を取り行っている。	・ほかの専門機関とも連携をとり、よりよい療育につなげていききたい。

携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		・現状、機会を設定できていないが、ニーズに応じて今後検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	・地域の支援部会へ参加	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・送迎時の対話や、連絡帳を用い、密に連絡を取り合っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		・保護者が同席する機会を設け、サービスの仕組みや、子どもとのかかわりなどについて意見交流を行っていききたい。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担額について丁寧な説明を行っているか		・不十分に感じられる部分もある。運営規程等を施設内にて公開し、保護者の閲覧できる場を設定したい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・連絡帳を活用し、保護者とのやり取りを大切にしている。 ・相談があれば、送迎時、電話、面談の場で対応をしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		・父母会については要請があれば、対応を行う。保護者会を実施していき(2020.1~)、保護者通しの連携の支援を行っていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・契約時に苦情受付口については説明をおこなっている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		・HPにて定期的に情報を発信していきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	・行っている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・必要、特性に応じ、適切な言葉かけを行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		・外部から招く行事の予定はなし。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル,防犯マニュアル,感染症対応マニュアルを策定し,職員や保護者に周知しているか		・ 契約時,また施設内に閲覧できるようにし,周知させていく。
	39	非常災害の発生に備え,定期的に避難,救出その他必要な訓練を行っているか		・ 避難訓練の計画を立て,行っていくたい。
	40	虐待を防止するため,職員の研修機会を確保する等,適切な対応をしているか		・ 内部研修を行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて,組織的に決定し,子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で,放課後等デイサービス計画に記載しているか		・ 現状身体拘束を要する利用者の利用はない。必要に応じて対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて,医師の指示書に基づく対応がされているか		・ 現状,食物アレルギーをもつ子どもの利用はないが,必要に応じて行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・ 自己記録をとり保存している。	